

2020

11/28(土)・11/29(日)

午後2時30分開演 (午後1時30分開場)

京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

Sat, Nov.28, 2020 / 2:30PM Sun, Nov.29, 2020 / 2:30PM
Kyoto Concert Hall

※開演前の「プレトーク」は開催いたしません。

京都市交響楽団

第651回 定期演奏会

The 651st Subscription Concert of
the City of Kyoto Symphony Orchestra

大友直人、至極のエルガーNo.2!
日本を代表する円熟のピアニスト、
清水和音が紡ぐ抒情あふれるグリーグ



©Rowland Kirishima



©Mana Miki

©Tatsuo Sasaki

曲目&出演者変更!

本公演は、新型コロナウイルス感染症を巡る状況に鑑み、
徹底した感染防止策を講じた上で、
曲目及び出演者を変更して開催いたします。
何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

指揮 **大友 直人** (桂冠指揮者)

Conductor : Naoto Otomo (Conductor Laureate)

ピアノ **清水 和音**

Piano : Kazune Shimizu

グリーグ：ピアノ協奏曲イ短調op.16

エルガー：交響曲第2番変ホ長調op.63

Grieg : Concerto for Piano and Orchestra in A minor op.16

Elgar : Symphony No.2 in E-flat major op.63

出演を予定しておりましたサッシャ・ゲツェル(指揮)及びアレクセイ・ヴォロディン(ピアノ)は、新型コロナウイルスの影響による渡航制限等のため来日が困難となり、指揮者を大友直人、ピアノ独奏を清水和音に変更いたします。どうぞご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ
京都市交響楽団 (075)222-0347 <https://www.kyoto-symphony.jp/>
京都コンサートホール (075)711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>

◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「託児ルーム」は受付を中止しております)。
◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

助成：文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

文化力
文化庁
文化芸術振興会

主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市

協賛：ローム株式会社

協力：株式会社ドルチェ楽器

後援：(株)エフエム京都

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

ROHM
SEMICONDUCTOR

京都市交響楽団 第651回 定期演奏会

The 651st Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

指揮



©Rowland Kirishima

大友 直人 (桂冠指揮者) / Conductor : Naoto Otomo (Conductor Laureate)

大友直人は桐朋学園在学中に22才でNHK交響楽団を指揮してデビュー以来、日本の音楽界をリードし続けている我が国を代表する指揮者のひとりである。これまでに日本フィル正指揮者、大阪フィル専属指揮者、東京交響楽団常任指揮者、京響常任指揮者、群響音楽監督、琉球響(沖縄)音楽監督を歴任している。また東京文化会館の初代音楽監督として東京音楽コンクールの基盤を築いたほか、数々の自主制作の企画を成功に導いた。海外では大阪フィル、東京交響楽団とのヨーロッパツアーをはじめ、ロイヤルストックホルム管弦楽団、フランス国立ロレーヌ管弦楽団、オーケストラカンヌ、オーケストラトスカーナ、プッチーニフェスティバルオーケストラ、ルーマニア国立放送響に度々招かれている。またフィルハーモニア管弦楽団の日本ツアーの指揮者も務めた。アメリカではインディアナポリス響、コロラド響に客演し、ハワイ響には旧ホノルル響時代から20年以上にわたり定期的に招かれている。教育活動としては毎年夏に横浜で開催される国際音楽セミナーMMCJを2001年に指揮者のアラン・ギルバートとスタートさせギルバートと共に創立音楽監督を務めている。また大阪芸術大学教授。京都市立芸術大学客員教授。洗足学園大学客員教授。これまでに多くの録音があるがその中にはルー・ハリソンのピアノ協奏曲をキース・ジャレットと、バルトークのピアノ協奏曲をフセイン・セルメットと、グラハム・フィットキンの二台ピアノとオーケストラのサーキットを小川典子&キャサリン・ストットと等が含まれる。幅広いレパートリーでも知られ、その中には日本を代表する数多くの作曲家の様々な作品の初演やジェームス・マクミランの幾つかの作品及びジョン・アダムのオペラの日本初演などがある。1958年東京生まれ。桐朋学園で小澤征爾、森正、秋山和慶、尾高忠明、岡部守弘らに学ぶ。NHK交響楽団指揮研究員時代にはW.サヴァリッシュ、G.ヴァント、F.ライトナー、H.プロムシュテット、H.シュタインらに学び、タンブルウッドミュージックセンターではL.バーンスタイン、A.プレヴィン、I.マルケヴィチからも指導を受けた。

ピアノ



©K.Mura

清水 和音 / Piano : Kazune Shimizu

完璧なまでの高い技巧と美しい弱音、豊かな音楽性を兼ね備えたピアニスト。ジュネーヴ音楽院にて、ルイ・ヒルトブラン氏に師事。1981年、弱冠20歳で、パリのロン＝ティボー国際コンクール・ピアノ部門優勝、あわせてリサイタル賞を受賞した。1982年、デビュー・リサイタルを開き、高い評価を得た。1983年、第9回日本シヨパン協会賞を受賞。同年「プラハの春音楽祭」にて、プラハ室内管と共演。この成功により1984年、プラティスラヴァ音楽祭のオープニングでスロヴァキア・フィルのソリストとして招待された。また同年、ミュンヘンのヘラクレス・ザールでデビュー・リサイタルを行った。ロジェストヴェンスキー指揮ロンドン交響楽団、ジャンドレア・ノセダ指揮キーロフ歌劇場フィルハーモニー管弦楽団、ゲルギエフ指揮マリンスキー歌劇場管弦楽団、アシュケナージ指揮シドニー交響楽団などと共演を重ね、国内外で広く活躍。室内楽の分野でも活躍し、共演者から厚い信頼を得ている。1995年秋から2年にわたって行われた、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全32曲演奏会は、その完成度を新聞紙上で高く評価され、ライブ録音がリリースされている。これまでにソニーミュージックやオクタヴィア・レコードなどから多数のCDをリリースし、各誌で絶賛されている。

2011年には、デビュー30周年を記念して、ラフマニノフのピアノ協奏曲第1番～第4番とパガニーニの主題による狂詩曲の全5曲を一度に演奏するという快挙を成し遂げた。2014年から2018年の5年間で春秋・年2回のリサイタル・シリーズ「清水和音 ピアノ主義」を開催。スカラッティとバッハに始まり、古典派からロマン派を中心に20世紀のピアノ曲まで、幅広いレパートリーで聴衆を魅了した。デビュー35周年を迎えた2016年5月には、バッティストーニの指揮で、ブラームスのピアノ協奏曲第1番及び第2番を熱演。同年4月からは、年6回の室内楽シリーズ「芸劇ランチコンサート」を開始するなど精力的な活動を続けている。桐朋学園大学・大学院 教授。

京都市交響楽団 / City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一、桂冠指揮者に大友直人が就任。2014年4月から常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーを開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞受賞。2017年4月から下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による3人指揮者体制を確立。2020年4月からは新指揮者体制として、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッドが就任し、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。



©井上写真事務所 井上慶和

ご来場のお客様へ：新型コロナウイルス感染拡大防止に関してのご理解とご協力をお願い

以下の症状があるお客様はご来場をお控えください

- ・37.5度以上の発熱、風邪の症状(咳、くしゃみ、頭痛、鼻づまり、喉の痛みなど)、強いだるさ(倦怠感、筋肉痛、関節痛)や息苦しさ(呼吸困難)、味覚・嗅覚障害がある方。37.5度を超える発熱がある方はご入場をお断りしますので、ご了承ください。
- ・身近に新型コロナウイルス感染症の感染者や濃厚接触者などがいる方。
- ・基礎疾患をお持ちの方、妊娠中の方は関係機関の情報を参考にいただき慎重なご判断をお願いいたします。

ご来場される際は以下にご協力ください

- ・マスクのご着用および咳エチケットにご協力をお願いいたします。マスクを着用されていないお客様はご入場をお断りする場合がございます。
- ・ご自身の顔(目、鼻、口など)を触る行為にお気をつけただくとともに、頻繁に手指の消毒・手洗いをお願いいたします。
- ・ホール内では、開演前・終演後のご挨拶はお控えください。

公演当日のホールにおける感染症拡大防止・予防への対応

- ・ホール入口では非接触体温計を用いて、すべてのご来館者様の検温を実施いたします。
- ・ホール内の換気をより強化し、外気取入れによる換気を行います。
- ・ホール内各所にアルコール消毒液を設置するとともに、手すりなどのホール内消毒を強化いたします。
- ・客席の間隔、演奏者の間隔、お客様と演奏者との間隔は十分な距離を確保いたします。
- ・プログラム等の手渡しでの配布はいたしません。ご自身でお取りいただけますようお願いいたします。
- ・出演者・関係者・スタッフは自宅での検温やマスクの着用、手指消毒を徹底します。体調のすぐれないスタッフがいた場合は、そのスタッフが当日の運営を行うことはございません。
- ・スタッフも、お客様へのお声がけをできる限り控えさせていただきますことを、あらかじめご了承ください。